

「原子力緊急事態支援組織」の設立に向け ロボット操作要員の訓練を実施しています

日本原子力発電株式会社

電気事業連合会は、東京電力福島第一原子力発電所の事故対応の教訓を踏まえ、万が一事故が発生した場合でも多様かつ高度な災害対応を可能とする支援体制を2012年内に整備した上で、2015年度中に「原子力緊急事態支援組織」^注を設立することとしました。

当社は、電気事業連合会からの依頼を受け、「原子力緊急事態支援組織」の設立までの段階における資機材の整備・管理や、操作要員の訓練を行っております。

注：高い放射線量のなかで事故収束活動にあたる作業員の被ばくを可能な限り低減するため、ロボットなどの資機材を運用し、事故発生事業者の緊急対応活動を支援します。

○「敦賀総合研修センター」において、各電力各社のロボット操作要員（各事業所6名程度、全社計100名程度）に対して、災害現場の確認用ロボット（Packbot[®]）を用いた訓練を実施しました。



Packbot[®]（災害現場の確認用）
カメラを装備しリアルタイムに監視可能。放射線測定機能付（専用キット）
（車体のサイズは、幅約50cm×長さ約90cm×高さ約20cm）



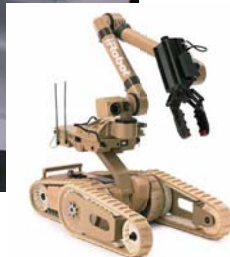
Packbot[®] 操作訓練
ロボットの操作は無線により遠隔で行う



階段昇降訓練
階をまたいだ現場へ移動するための訓練



物品移動訓練
物品をつかんで移動する訓練



Warrior（障害物の除去用）
最大吊上げ重量 100Kg、階段昇降 45度
（車体のサイズは、幅約80cm×長さ約140cm×高さ約50cm）



障害物上走行訓練
事故時の障害物を想定した訓練



アーム伸縮操作訓練
アームを伸縮させ確実に目標物をつかむ訓練

○今後とも、ロボット（Warrior）などの資機材の拡充や定期的な訓練を実施してまいります。

敦賀発電所では、万一の事故が発生した場合、発電所員と発電所の近傍に常時待機している所員が直ちに出動して緊急時の対応にあたります。このため、いざという時にしっかり対応できるように、繰り返し訓練を行っています。

全ての電源がなくなった場合を想定した電源の確保訓練

高圧電源車



高圧電源車の起動操作訓練



中央制御室での遠隔起動訓練



所内電源盤までの電源ケーブル敷設訓練



所内電源盤への電源ケーブル接続訓練(夜間訓練)

シビアアクシデント(過酷事故)を想定した訓練

(全景)



異常発生を想定したシミュレーター運転操作訓練

原子炉や使用済燃料プールを正常に冷却できなくなった場合を想定した冷却機能の確保訓練



大容量ポンプの操作訓練



大容量ポンプ車を使用した送水ポンプの海中投入・送水訓練



消防車から復水タンクへの給水訓練



発電所内の道路にがれきなどが散乱してアクセスできなくなった場合を想定したホイールローダによる夜間の走行訓練



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 Tel 0770-25-5713 (土日祝日を除く9時~17時)

安全対策についてはホームページに詳細を掲載しておりますのでご覧ください。 <http://www.japc.co.jp>